

## 臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学（病院）では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。

研究課題名	顎変形症手術前後の関節円板位の変化に関するMRIによる検討
研究機関名	金沢医科大学（病院）
研究責任者	金沢医科大学（病院） 歯科口腔科 瀬上夏樹
研究期間	2017年12月～2018年12月
対象者	1995年5月1日～2017年4月30日の間に当院ですでに外科的顎矯正手術が施行され、手術前後にMRI診査を行われた患者さん。
当該研究の意義・目的	顎変形症は顎関節機能と関連するが、さらに治療的に遂行される外科的顎矯正手術の顎関節に及ぼす影響は不明です。そこで多数例における、顎変形症手術（下顎枝矢状分割術、下顎枝垂直分割術、下顎枝垂直矢状分割術）による顎関節への影響について検討を行います。とくに手術後に顎関節症状が変化し増悪あるいは改善されると言われるが、その詳細は不明です。なかでも痛み、雑音症状の臨床研究はあるが、MRIによる関節円板の位置と形態に関する報告はほとんどみられず、多数例における信頼性の高い検討が必要です。本検討により、顎変形症患者の手術治療に際して、適切な術式選択基準を策定することが可能と考えられます。
方法および研究で利用する試料・情報について	1995年～2017年において当科で外科的顎矯正手術を施行した顎変形症患者において手術前後の顎関節症状とMRI画像を比較検討して、手術による顎関節への影響を調査します。具体的には、3種類の下顎枝手術を施行した患者さんの手術前、手術直後、手術6ヵ月後のMRI画像と臨床症状を経時的に比較することにより、各手術の顎関節への影響を比較検討し、各患者さんの状態に応じた手術法を選定して、さらに術後の関節症状の予測が可能となります。 情報：患者さんの既往歴、治療歴、症状、MRI画像等
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学（病院） 歯科口腔科 瀬上夏樹 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511 内線（7007）

作成日： 2017年12月11日